

## 令和6年度・令和7年度 開講予定の講義科目

履修計画を立てるための参考として、令和6年度及び令和7年度開講予定の科目一覧を示しておきます。

履修計画策定にあたっては、特に「履修前提科目」に注意しましょう。多くの講義科目では「履修前提科目」が設定されており、それを修得した後でのみ各講義科目を履修できるようになっています。「履修前提科目」を計画的に修得しておかないと、その後、思ったように講義科目を履修できず、単位不足のために卒業できなくなってしまうかもしれません。以下の開講予定講義科目一覧を参考にして、卒業までのことを見据えながら効果的・効率的な履修計画を立ててください。

- \* 一覧表は経済学部専門科目としての一般の講義科目のみを示しています。法経連携教育プログラム、ESD、IFEEK、EUエキスパート人材養成プログラム等の特別プログラムに関連する科目、全学共通授業科目、他学部開講科目等については記載してありません。
- \* 予期せぬ事由によって、一覧表記載の講義科目が開講されなくなることがあります。また、記載のない講義科目が追加されることもあります。
- \* 履修前提科目や必修科目については適用される入学年度（学年）に注意してください。
- \* 令和7年度の各授業科目の開講時期は未定です。

	令和6年度		令和7年度	
必修科目	初級経済学 経済史 中級ミクロ経済学 経済数学	経済学のフロンティア 統計学 中級マクロ経済学 経済倫理と思想	初級経済学 経済史 中級ミクロ経済学 経済数学	経済学のフロンティア 統計学 中級マクロ経済学 経済倫理と思想
通常の講義科目	経済政策基礎論 公共経済学 日本経済論	金融論 国際経済学	経済政策基礎論 公共経済学 日本経済論	金融論 国際経済学
	ゲーム理論 計量経済学 現代技術論 国際貿易論 国際マクロ経済学 マイクロデータ分析Ⅰ マイクロデータ分析Ⅱ 経済統計学 食料経済論 産業組織論 地域創生論 経済体制論	ジェンダーと家族の経済学 近現代日本経済史 中近世西洋経済史 アジア経済論 中国経済論 ヨーロッパ経済論 財政学 国際経済政策 ファイナンス 国際金融論 プログラミング入門 プログラミングと経済分析	ゲーム理論 計量経済学 現代技術論 国際マクロ経済学 マイクロデータ分析Ⅰ マイクロデータ分析Ⅱ 経済統計学 人口政策 社会政策 経済政策原理	近現代西洋経済史 中近世日本経済史 アジア経済論 中国経済論 アメリカ経済論 財政学 ファイナンス 国際金融論 マクロ経済学の潮流 プログラミング入門 国際経済政策 ヨーロッパ経済論
	上級ミクロ経済学Ⅰ 上級マクロ経済学Ⅰ 上級計量経済学A 上級計量経済学B 上級日本金融史 上級中国経済論 上級アジア経済論	上級経済数学 上級空間経済学 上級国際貿易論 上級欧州統合史 上級ラテン・アメリカ経済論 上級労働経済学 上級農業政策	上級ミクロ経済学Ⅰ 上級マクロ経済学Ⅰ 上級計量経済学A 上級計量経済学B	
	Intermediate Microeconomics Intermediate Macroeconomics Economics of European Integration (Lecture) Economics of European Integration (Seminar) Advanced Comparative Economic History Advanced Public Finance Advanced Finance Advanced European Economy		Intermediate Microeconomics Intermediate Macroeconomics Environmental Economics	
	外部講師による授業科目	アカウンティング講座 経営戦略シミュレーション アセットマネジメントの理論と実務 金融・財政および関西経済の現状 総合商社のグローバル戦略 現代金融・商品デリバティブ論 ビジネス会計入門：キャリア入門講義 総合商社のビジネスモデル ～ビジネスを通じた社会問題の解決と価値創造～ FinTech×デザインシンキング キャリア形成と労働法制度 International Economy and Finance IT・デジタルが牽引する金融の世界		※おおむね令和6年度と同様の講義が予定されていますが未確定です。

令和6年3月13日

経済学部教務係